

2019年度 文教大学附属生活科学研究所

公開講座記録

開催期間 2019年10月26日(土)

会場 文教大学越谷キャンパス 12号館 12101

開会の挨拶 研究所所長 金藤 ふゆ子

司会進行 研修部主任 二宮 雅也

学校と地域の連携による放課後支援

生活科学研究所は、人間の生活にかかわる様々な事象や課題を学術的に研究する目的で1976年に設立され、人々の生活向上及び地域社会や教育の発展に貢献することを目的として公開講座を開催してきました。今年、「学校と地域の連携による放課後支援」を主題とし、学校と地域の連携による放課後支援の現状を理解すると共に、今後の更なる推進を図るために残された課題や意義を検討する公開講座を開催しました。

第一部では、3講師による講演を行いました。岡貴子氏からは日本の子どもの放課後支援政策の概要を、村井琢哉氏からはNPO実践者による多様な活動支援のあり方を、田中麻衣氏からは海外の事例としてスウェーデンの放課後支援について報告をしていただきました。

講師プロフィール

- ・岡 貴子氏 (文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課地域学校協働活動推進室室長、国の教育政策として学校と地域の連携による教育の推進に携わる)
- ・村井 琢哉氏 (NPO 法人山科醍醐こどものひろば理事長 子どもの居場所づくりに携わる)
- ・田中 麻衣氏 (スウェーデンの学童保育の再建、学校の教頭及び校長職を経て、現在は幼稚園運営並びに特別支援教育の支援業務に携わる)

第二部では、金藤ふゆ子研究所所長のコーディネートのもと「学校と地域の連携による放課後支援—支援の質はどうすれば高められるのか?—」と題したシンポジウムを開催し、講師の方々と議論をしました。

来場者 申込者数：180人 当日参加者：139人

主催：文教大学附属生活科学研究所

後援：埼玉県教育委員会・越谷市教育委員会・草加市教育委員会・春日部市教育委員会